

# PSS REPORT 2021

## 第36期 事業報告書

2020年7月1日 → 2021年6月30日



東証マザーズ上場

証券コード：7707

### ▶ トップメッセージ

TOP MESSAGE

株主の皆様におかれましては、平素より当社の事業につきまして格別のご支援とご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。PSSの事業進捗についてご報告させていただきます。

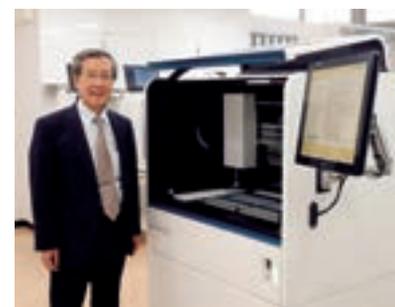
#### 事業の成長による社会貢献とは？

バイオ（遺伝子・タンパク質等）診断システムの提供を通じて

事業目的は、使い勝手の良い（ユーザーフレンドリーな）バイオ診断システムの提供を通じて、その診断情報を有効活用することにより、世の中の多くの人々に快適な生活を送って頂くことです。そのため事業領域における強みとして「自動化システム技術」を活かすこと、すなわち「バイオテクノロジー」と日本企業の得意とする「ものづくり」を融合して、事業の成長による社会貢献をはたします。

PSSの技術コンセプトは、「シンプル、コンパクト、メンテナンスイージー」の自動化システムです。このコンセプトが、社会に受け入れられたDNA(核酸)自動抽出装置は、累計約3万台以上を世界的な企業を通じてOEM供給しました。現在では研究分野だけではなく、感染症やDNA鑑定等の臨床の現場でも利用されるようになりました。

今後PSSが事業の成長により社会貢献できるのは、この実績と経験を活かした応用展開です。すなわちDNA自動抽出技術（Magtration®）を発展させたバイオ診断システム（全自動化装置と一体化した検査試薬）の製品提供を通じて、世界のより多くの人々に、バイオ診断情報の有効活用による社会貢献に関わることだと考えています。



プレジジョン・システム・サイエンス株式会社  
代表取締役社長

田島 秀二

#### PSSの提案する診断システム

- 全自動PCR検査装置  
geneLEAD XL



#### 業績について

第36期（2021年6月期）連結業績について →参照 連結財務ハイライト

対前期比では連結通期業績は増収増益でした。特に、世界的な新型コロナウイルス「COVID-19」迅速確定検査の急増する需要に対応するための増産により、対前期比を大幅に上回る売上（9,298百万円）を達成して、特に構成別売上のうち前々期に引き続き試薬・消耗品は大幅な増収（前期比162%増、前々期比287%増）要因となり、設備投資による減価償却や営業活動費用等の前期比費用増加要因はあったものの連結通期業績では大幅な増益となりました。（営業利益895百万円）

#### 新型コロナウイルス感染症「COVID-19」への取り組みについて「全自動PCR検査モデル提案」

PSSはCOVID-19をはじめ重篤感染症の脅威から掛け替えのない人命や経済を守るためPCR検査体制の構築を目指し、PSSの技術を集積した核酸（DNA）抽出自動化装置（magLEADシリーズ）及び全自動PCR検査装置（geneLEADシリーズ）とPCR試薬とを連携させたシステムに注力してまいりました。特にgeneLEADシリーズは核酸抽出とリアルタイムPCRの一貫全自動システムとして、ヨーロッパを中心に世界の医療現場で導入されています。

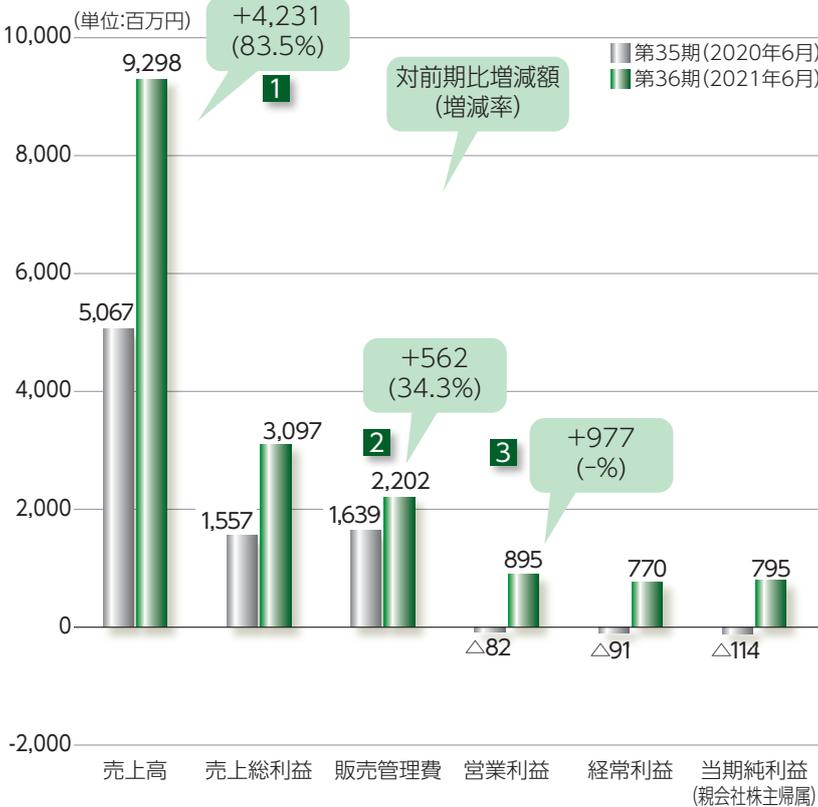
日本国内においても、全自動PCR検査装置とPCR試薬（COVID-19検査用）が保険適用の対象製品となったことにより、2020年8月より販売を開始し自社ブランドの全自動PCR検査装置は順調に日本の医療現場に導入されており、そしてこのたび新たに「全自動PCR検査日本モデル」として、唾液プーリング検査、リオフィライズ（凍結乾燥試薬）カートリッジ、バーコード検査管理を駆使した「ALL PCR Process in Single Room」によるスクリーニング、診断一貫体制を提案しています。

今後は「コロナ禍におけるPCR社会的課題（目詰まりと偽陰性・偽陽性）」解決に一役担うべく大館試薬センター第二工場を中核としたプレフィルドカートリッジ抽出試薬・消耗品キットのサプライチェーン構築の設備投資を実施して全自動PCR検査の省力化、大幅な時間短縮、人為ミス及び感染リスクの軽減や、COVID-19のより高感度検査実現を目指します。更には、発生が予測される各種ウイルス対応検査試薬の開発、製造に向けた事業体制を拡大し、将来の重篤感染症、パンデミックに備えた自動化システムの普及に鋭意取り組み社会貢献を果たしてまいります。

第37期（2021/6月期）においても上記を踏まえた施策を厳格に進めることにより、株主・投資家の皆様の期待に応える成果を着実に御覧いただけるよう事業を推進してまいります。引き続きご支援のほど何卒宜しくお願い申し上げます。

第36期(2021年6月期)連結業績

■世界的な新型コロナウイルス「COVID-19」迅速確定検査の急増する需要に対応するための増産により、対前期比を大幅に上回る増収増益を達成しました。



◆第35期(2020年6月期)業績比

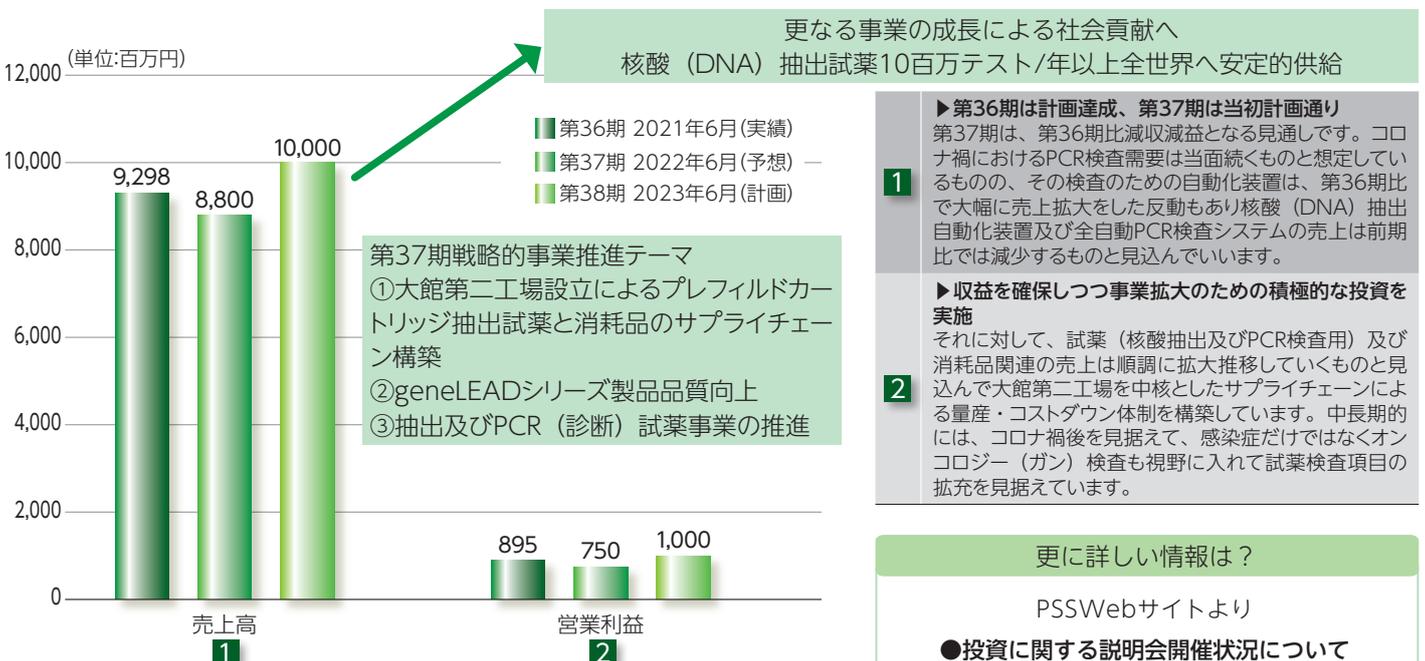
- ▶ **売上高及び売上総利益の大幅増収増益**  
世界的な新型コロナウイルス「COVID-19」迅速確定検査の需要に対応するために、全自動PCR検査装置や、DNA自動抽出装置及びそれらに付属する消耗品(抽出試薬、プラスチック消耗品)の販売は対前期比大幅な増収となりました。
- ▶ **販管費は前期比増加**  
積極的な営業販売活動費用や全自動PCR検査システムの応用開発費用等により研究開発費は551百万円(前期比5.7%増)と増加したことによるものです。
- ▶ **業績は黒字化**  
営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は対前期比大幅な増益となりました。

中期事業計画(2021年6月期~2023年6月期)の進捗について

■遺伝子診断市場のトレンドを捉え事業フィールドを研究開発分野から臨床診断分野へ移行し、製品構成は装置中心から試薬・消耗品ビジネスへの転換を掲げ、3か年の中期事業計画を策定しており、その事業進捗に鑑みて、毎年数値の見直しを実施しています。

中期事業計画の方針としては、1,既存OEM取引の深耕及び新規OEM契約の獲得、2,自社製品のラインアップの充実と販売強化、3,試薬・消耗品ビジネスをはじめとする製品コストダウンによる利益率の向上を掲げ、売上拡大と利益確保を定めています。

なお、第37期業績予想に関する為替見直しは、1ドル=110円、1ユーロ=130円にて算定しています。



- ▶ **第36期は計画達成、第37期は当初計画通り**  
第37期は、第36期比減収減益となる見通しです。コロナ禍におけるPCR検査需要は当面続くものと想定しているものの、その検査のための自動化装置は、第36期比で大幅に売上拡大をした反動もあり核酸(DNA)抽出自動化装置及び全自動PCR検査システムの売上は前期比では減少するものと見込んでいます。
- ▶ **収益を確保しつつ事業拡大のための積極的な投資を実施**  
それに対して、試薬(核酸抽出及びPCR検査用)及び消耗品関連の売上は順調に拡大推移していくものと見込んで大館第二工場を中核としたサプライチェーンによる量産・コストダウン体制を構築しています。中長期的には、コロナ禍後を見据えて、感染症だけではなくオンコロジー(ガン)検査も視野に入れて試薬検査項目の拡充を見据えています。

更に詳しい情報は?

PSSWebサイトより

●投資に関する説明会開催状況について  
(2021年9月6日)

■ 大館第二工場設立進捗（2022年3月竣工予定）



基礎工事完了（スケジュール通り工事は進捗中）

■ 全自動PCR検査日本モデルの提案（2020年11月13日）

■ 京都大学医学部附属病院が実施したPSS全自動PCR検査システムを用いた検討結果の報告とそのシステムの事業展開に関するお知らせ（2021年7月15日）

■ PSS新宿ラボ開設（2021年10月予定）

全自動PCR検査日本モデル『ALL PCR Process in Single room』



いつでも どこでも だれでも 正確 (Precision) な PCR検査の実現

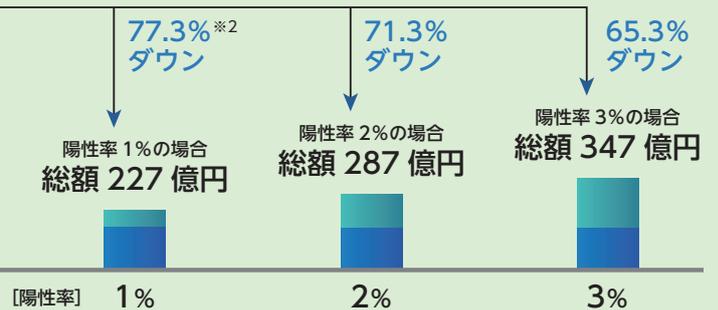
全自動PCR検査日本モデルによる「新型コロナウイルス」プーリング検査試算事例

1,000万人分のPCR検査を個別に実施した場合

(参考価格)※  
 $10,000円 \times 1,000万人$   
 =  
**1,000億円**

個別検査との費用比較=総額/1,000億円で算出  
 (参考価格)※  
 PSS標準検査手続きによるテスト単価を概算設定

6人分を1プールとしてPCR検査を実施する場合※1



※1 プーリング検査数 167万テスト×10,000円=167億円

※2 1,000万人のうちの10万人が陽性で、それぞれが別のプールに含まれると想定した場合、60万検体分を再検する必要がある。

## 第36回定時株主総会決議ご通知

### 決議事項

- 第1号議案 資本準備金の減少及び剰余金処分の件**  
原案のとおり承認可決されました。期末配当は、当社普通株式1株につき金5円と決定いたしました。
- 第2号議案 取締役6名選任の件**  
原案のとおり以下の各氏が承認可決され、それぞれ就任いたしました。
- 第3号議案 取締役及び監査役の報酬額改定の件**  
原案のとおり承認可決されました。金銭報酬枠として、取締役は年額200百万円以内、監査役は年額50百万円以内となります。
- 第4号議案 取締役（社外取締役を除く）に対する譲渡制限付株式の付与のための報酬決定の件**  
原案のとおり承認可決されました。非金銭報酬枠として、取締役（社外取締役を除く）は年額100百万円以内、当社普通株式の総数は年200千株以内となります。

### 新役員体制

#### ● 取締役

代表取締役社長 田島 秀二 取締役 田中 英樹  
専務取締役 池田 秀雄 取締役 澤上 一美  
常務取締役 古川 昭宏 社外取締役 荻原 大輔

#### ● 監査役

常勤監査役 部屋 健太郎\*  
社外監査役 本島 佳代子  
社外監査役 鈴木 泰浩  
(注)\* 社外監査役

## 株式の状況

## STOCK INFORMATION

発行可能株式総数 68,480,000株  
発行済株式の総数 27,666,900株  
株主数 21,660名

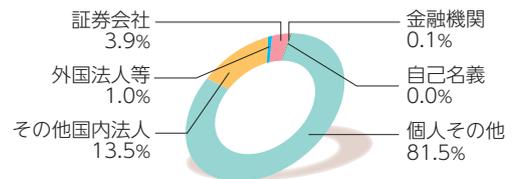
### 大株主（2021/6期末現在）

株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
田島 秀二	4,549,200	16.44
株式会社日立ハイテック	2,310,000	8.34
有限会社ユニテック	1,200,000	4.33
松井証券株式会社	292,800	1.05
楽天証券株式会社	194,600	0.70
株式会社SBI証券	147,840	0.53
田中 正勝	145,800	0.52
岩下 敬正	130,000	0.46
佐々木 重次	129,300	0.46
大和証券株式会社	117,700	0.42

### 株主数推移(名)



### 所有者別保有株式数



## 株主メモ

## SHAREHOLDER INFORMATION

事業年度	毎年7月1日から翌年6月30日まで
剰余金の配当基準日	期末配当金 毎年6月30日 中間配当金 毎年12月31日
定時株主総会	毎年9月
単元株式数	100株
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
公告方法	電子公告 ( <a href="http://www.pss.co.jp">http://www.pss.co.jp</a> ) ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載します。

お取扱窓口	証券会社等に口座をお持ちの場合、住所変更や買取請求等株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社等経由で行っていただくこととなりますので、ご利用の証券会社等へご連絡をお願いいたします。 証券会社等に口座をお持ちでない場合（特別口座の場合）、下記のお取扱店にてお取次いたします。 なお、支払明細の発行に関するお手続きにつきましては、みずほ信託銀行の下記連絡先にお問合せください。
お問合せ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部 フリーダイヤル 0120-288-324（土・日・祝日を除く9:00~17:00）
お取扱店	みずほ証券 本店、全国各支店 プラネットブース（みずほ銀行内の店舗）でもお取扱いいたします。 みずほ信託銀行 本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払い	みずほ信託銀行 本店および全国各支店 みずほ銀行 本店および全国各支店 （みずほ証券では取次のみとなります。）

## PSS IRメール配信のご案内

PSSでは、個人株主・投資家の皆様とのコミュニケーションをはかるため、Eメール配信を行っております。プレスリリースや会社説明会のご案内等を、オンタイムでお知らせしております。  
PSSWebサイト>企業情報・IR>PSSIRクラブからメールアドレス登録ができますので、是非ご登録ください。

### (将来の見通しに関する注意事項)

本事業報告書では、当社グループの将来についての計画・戦略・業績に関する予測と見通しが含まれています。実際の業績は、述べられている見通しと異なる可能性があることをご承知おきください。



プレジジョン・システム・サイエンス株式会社 総務部

▶〒271-0064 千葉県松戸市上本郷88 ▶TEL:047-303-4800 ▶FAX:047-303-4810 ▶Eメール:ir@pss.co.jp